



# 助産学共用試験を 2026年4月より開始します

## 助産学共用試験とは

助産学共用試験は、わが国の多種多様な助産師教育課程において、臨地実習などに臨む助産学生能力を標準的水準で保障するための取り組みです。2026年からは助産学共用試験（Computer- Based Testing：CBTおよびObjective Structured Clinical Examination：OSCE）のうち、助産学CBT（CBT-Pre Midwife）について先行して運用を開始いたします。全国助産師教育協議会が策定した「望ましい助産師教育におけるコアカリキュラム」に準拠した試験問題により、（財）日本助産評価機構が運営し、全国統一基準にて臨地実習前の学生の能力を評価します。

### 2026年度 受験校 受付期間

2025年12月17日(水) ～ 2026年1月31日(土)

当機構ホームページから受付フォームにて申込(受験校ごと)

※ 最終的な利用確定は、2026年3月の受験日程決定時に改めて確認をさせていただきます。  
よって、ご利用をお考えの教育機関は、まずは上記の期間にお申し込みください。

#### 試験方法

（財）日本助産評価機構が提供するCBTシステムにて受験校ごとに行います。

#### 試験日程

各受験校の実習前の試験希望日程に基づき、当機構にて試験日程を調整します。

#### 費用

（公社）全国助産師教育協議会会員校  
受験生1名あたり 4,000円  
その他の助産師養成機関  
受験生1名あたり 5,000円

#### 出題形式と出題問題

出題形式は、5肢択一、5肢択二、4肢択一形式となります。

出題数は、第1科目（マタニティケア）から100問、第2科目（マタニティケア以外の6分野）から50問となります（計150問）。

試験時間は合計150分となっております。

#### 合否判定

合否は第1科目（マタニティケア）のみで判定され、正答率60%を基準点とします。合格者には合格証を交付します。

助産学共用試験の詳細は当機構HPをご参照ください。

#### 【運営・お問い合わせ先】

（財）日本助産評価機構 助産学共用試験事業部事務局

E-mail: [g028jime-catpm-mng@ml.gakkai.ne.jp](mailto:g028jime-catpm-mng@ml.gakkai.ne.jp)

URL: <https://www.josan-hyoka.org/cat-premidwife/>

